

チェルノブイリ通信

<http://www.cher9.to/tusin.html>

NPO法人
チェルノブイリ医療支援ネットワーク
〒811-3102 福岡県古賀市駅東2-6-26-203
TEL/FAX: 092-944-3841
E-mail: jimu@cher9.to



チェルノブイリ医療支援ネットワーク(CMN)は、チェルノブイリ原発事故で被災した人々のために、現地から求められる医療支援を行います。この活動を通して、日本とベラルーシの人びとの心と心のつながりを深めます。

No.

101

特別寄稿：ベラルーシの今

CONTENTS

原発事故後を生きるベラルーシと日本との交流について / 顕微鏡専用デジカメを寄贈していただきました！ / 連続学習会のご案内 / 活動報告 / 支援者のお名前とメッセージ / 事務局からのお知らせ / 編集後記



小さな子どもに人気のある乗り物。プレスト州の中心地にある広場内をのんびりと走る

あなたもチェルノブイリを支える一人になっていただけませんか？
ご寄付を受け付けています。

郵便振替口座 01770-1-65328
楽天銀行 ジャス支店（支店番号201）（普）7017104
住信SBIネット銀行 法人第一支店（支店番号106）（普）1030416



本紙はCMNの活動を支援してくださっている皆さまへお届けしています。また団体ウェブサイトでもPDFファイルにてご覧いただけます。送付がご不要な場合は事務局までご連絡ください。

ベラルーシの今

現在ベラルーシ共和国へ留学中の田中仁さん。CMNの現地訪問時には通訳として活躍してくださっています。日々の暮らしから垣間見えるベラルーシの人々の生活や文化、地理・歴史、そして日本との交流について綴っていただきました。

私がベラルーシ・ミンスクに初めて来たのは福島第一原発事故直後の2011年3月15日。当初は半年間の語学留学の予定でしたが、様々な出会い・勧めがあり、現在はベラルーシ国立大学でジャーナリズムを専攻しています。現地の人々のやさしさに触れ、多くの方に支えられた4年間でしたが、この経験をもとにベラルーシの現在、日本との交流、チェルノブイリ原発事故後の状況を綴らせてもらいました。この国のことをより知ってもらえればと思います。

ベラルーシ共和国は1991年のソビエト崩壊直後に誕生したまだ若い国ですが、その地の歴史は862年に誕生したポーラツク公国にまで遡ります。その後、ロシアに吸収され、ポーランドと合併、ロシアの一部、ソビエト連邦のなかの共和国に

なるなど独立までの道のりは平坦ではありませんでした。またヨーロッパとロシアの通過道に位置しているため、双方の間でたびたび起こった戦争でベラルーシの地は焼け野原となりほぼ全ての歴史的建造物は破壊され、当時のおもかげは残っていません。それでも祖国を守り続けてきた平和を愛するベラルーシの人々は胸を張って言います。「我々ベラルーシは攻められることはあっても、他国を攻めたことは一度もない。ただ母国を守るためだけに勇敢に闘ってきた歴史がある！」

このことはベラルーシのシンボルとなっている動物《ズーブリ》の普段は温厚だがひとたび怒らせると強大な力を発揮する性格に現われています。一時は絶滅が危惧されていたズーブリですが、今はプレスト地方にあるポーランドとの国境を挟んだ

観光地・国立自然公園《ベラベージュスカヤ・プーシャ》でもう一つのベラルーシのシンボルとなっている鳥《アイスト》と共に大切に保護されています。ルネッサンス時代に聖書を創作したポーラツク出身の啓発者フランチスク・スカリーナ(1486～1540)はロシアでいえばプーシキンのような存在で皆から尊敬・愛されています。彼の生まれた町の中心公園、首都ミンスクの新観光地でもある国立図書館の前には巨大なモニュメント像が立っています。

領土面積は207km²で、ヨーロッパ大陸の2%を占めています。平地で山と海がありませんが、緑豊かな森(全て国有)に囲まれ、20,800の川、10,800の湖があります。その豊富な自然の恵みからとれる野菜・果物は新鮮で皮ごと食べられます。主食のジャガイモからできる《ドラニ

①川向こう岸に見えるのは、ミンスクにある旧市街地のトロイツカヤ・ブレドメスツェ。度重なる戦禍によって町が消滅していったが、この地は戦前の町の面影を残した観光地として保存されている
 ②プレスト州国立自然公園のズープリ(パツファローの一種)
 ③ベラルーシの国民的作家フランチスク・スカリーナの像。ミンスクの国立図書館前にて



キ》がベラルーシの伝統料理です。

ベラルーシは適度な大陸性気候で、夏(6~8月)は気温が30℃を超えることもあります。湿度がそれほど高くないので酷暑を感じることはありません。ただ一日のうちに天気が急激に変わりやすく、晴天から突如、雷・大雨・突風になることがあります。日は長く、朝5~夜10時まで明るさが残ります。暗くなると色とりどりのイルミネーションで町はライトアップされます。また夏季は1~2週間お湯が止まります。クーラーが備え付けられている建物は少なく、子ども達だけでなく大人も町にたくさんある噴水や川で水浴びをしている姿がよく目に付きます。

冬(12~3月)はマイナス10℃前後で雪が多く、太陽が顔を出すのは稀です。日は9~17時と短く非常に寒いですが、屋内は暖房器具(湯が

通ったパイプ)がしっかり効いていて半袖で過ごせるぐらいです。

人口は約1千万、首都ミンスクには180万人が住んでいます。人口密度は47人/km²で、町の道幅も広く歩きやすく感じます。ただ通勤・通学時間帯(8時と18時)の地下鉄はとても込み合い、中心のアクチャーブリスカヤ駅での乗換移動時には東京や大阪と変わらないぐらいたくさんの人だけができます。

男女比では女性が多く、学校、大学、病院、銀行、レストラン、スーパーと、いたるところで女性の職員のほうが圧倒的に目立ちます。男性は建設労働者、修理工、バス、タクシーの運転手として働く人が多いです。男性には2年間(大学卒業後だ

と1年間)の兵役義務がありますが、健康に問題があるとき、大学院や海外などで27歳まで学業・研究を続けた場合は免除されます。結婚は男女共に25歳までにする人が多く、たいていの夫婦は共働きです。子どもは各家庭に2人ぐらいで、4人目からは国の援助が受けられます。離婚率は約5割と高めです。平均寿命は65~70歳。男性は60歳、女性は55歳から年金が支給されます。

物価は安めで、レストラン・カフェでの食事、スポーツの試合・コンサート・映画・オペラ・バレエの入場料は400~1,600円位です。食料品は比較的安価ですが、電化製品と衣類は日本とあまり変わらないぐらいの値段がします。交通機関は地下



④にぎやかなカルラ・マルクス通りにて
 ⑤サーカス場
 ⑥ターミナル駅
 ⑦近代的な装飾が施されたデパート「スタリツァ」(首都)の内部

鉄、路面電車、バス、トロリーバスの乗車券が一回につき36円です。地下鉄では手荷物検査(大きな荷物のみ)があり、コイン状の切符を買い改札機に入れます。それ以外の乗り物では紙状の切符を各乗り物の中にある読み取り機に通す必要があります。そうしておかないと、時々乗ってくる切符点検員に見つかった場合に570円の罰金をとられます。長距離列車(例えばミンスク～プレスト)でも1,000円程で往復できます。

大学の授業料は年間約30万円ぐらいで、奨学金制度を使い無料で学んでいる学生も多数います。この奨学金制度を使った学生達には卒業後、国が定めた職場(自分で職場を決めることもできるがベラルーシ国内)で2年間働く義務があります。大学の寮費も安く月に800円(外国人=3200円)ほどです。ただ

アパートを借りるとなると、月3万円はかかります。

休暇を過ごすための別荘《ダーチャ》を郊外に持っている人は多いですが、ベラルーシの町中で一戸建ての家を持っている人は多くありません。ほとんどの人が集合住宅に住んでいますが、その外観からは想像できないくらい内装は豪華で広々としています。キッチン・食卓のすぐ隣にトイレ・バスがある設計がほとんどです。

月給の平均は4～5万円で教師・医者とは逆に給料が少なく、法律家・建築家・プログラマーの職種が高給です。物価の上昇もあり本職だけで生計を立てるのが厳しい場合が多く、一人で2、3の仕事を持っているのもめずらしくありません。ただ国が各人に仕事を保障しており、若い人でも与えられた職種をえり

好みすることは少ないので失業率が低く、ホームレスはめったにいません。それでも外国(特にヨーロッパ、アメリカ)に移住するのを夢見る人は多数います。給料のよさだけでなく、自身の夢(やりたい研究等)が実現できる環境を求めて海外へ行くようです。

日本との交流はチェルノブイリ・福島に共通する原発事故での協力、そして文化面が活発です。日本の文化を愛する親日家が多いベラルーシでは毎年9月から11月にかけて開催される大使館主催の《日本の秋》フェスティバル(2013年～)のなかで茶道・書道・武術大会・邦画上映・アニメコスプレといった様々なイベントが行われています。

またミンスクと仙台は40年来の姉妹都市で使節団の行き来があります。2012年の夏には仙台から小学



⑧《日本の秋》アニメフェスティバル「ひがん」

⑨観光スポットにもなっている《長崎の鐘》。地中には核の被害に遭った広島、長崎、福島が埋められている

生を中心とした団体がミンスクを訪れ、子どもたちが現地の自然・文化・人々に触れ合う機会を得ました。2002年には両都市の友好を記念してミンスクの中心地に《仙台公園》が造られました。園内には装飾マスクがデザインされた噴水、ミンスクと仙台の時間が表示された二面型のCitizen社の時計が設置され、毎年5月には日本から贈られた桜が開花します。この仙台公園から歩いて5分のところにあるベラルーシで最も大きいカトリックの聖シモン・ヘレナ教会の手前には長崎の浦上天主堂から贈られた《長崎の鐘》があります。その記念碑の下には原爆の被害にあった広島・長崎、原発事故が起こった福島の土が入ったカプセルが埋められています。町ではこの《長崎の鐘》、《仙台公園》を訪れる観光ツアーも実施さ

れています。

ベラルーシは1986年に起きたチェルノブイリ原発事故による最大の被害国でもあります。現在ではだいぶ落ち着いたとはいえ、その影響が完全になくなったとはいえません。店で販売される食品は国の放射能検査で安全基準値を超えていないもののみです。ただ通りで個人が安く売っている野菜・果物などは検査を受けていないことがあります。

ミンスク市内のナピンキ地区(中心地からバスで30分の場所)には誰でも160円(2011年当時)で簡単に体内の放射能値測定検査を受けることのできる施設があります。5分ほど検査用の椅子に座り質問に答えるだけですぐに結果が出て、その検査結果に基づき職員が適切なアドバイスをしてくれます。またミンスク中心から車で1時間半のビレイス

キー地区にはサナトリウム《希望21》があります。ここでは放射能汚染地域(主にゴメリ州)からの6~17歳の子どもたちが治療・リハビリをしながら学校教育も受けています。

このように原発事故による放射能被害と今も闘い続けているベラルーシですが、人々は明るくお互いを支え合っています。そのベラルーシ人もどんな災害の時も争わずに皆で力を合わせて頑張る日本人のことを尊敬しています。親しくなれば素直に心を開き、困った人がいれば他人であってもすぐに手を差し伸べる。今でも心に強く残っているのが、日本人の私が初めてベラルーシに来たばかりの2011年、大学の先生方・親しくなった友人・通りすがりの人にも、その年の3月に起きた福島第一原発事故のことで握手を求められました。彼らは広島と長崎に原爆が投下され、福島の事故が起こった日本のことを心から心配してくれました、かつて日本の多くの人がチェルノブイリ原発事故の被害者にエールを送ったように。このベラルーシ人と日本人に共通した《やさしさ》こそが両国の絆を深くしています。

(株) ニコンインステックさまより、 顕微鏡専用デジカメを寄贈していただきました！

2005年にプレスト州立内分泌診療所に寄贈したニコン顕微鏡は、甲状腺検査で採取した細胞を詳しく調べるのに活用されています。この顕微鏡にはデジタルカメラ（デジカメ）をセットすることで顕微鏡の画像を撮影できるという機能があります。しかし当時通関の際に接続アダプタを係官によって分解されたためか、画面表示が非常に小さくピントの合った写真を撮るのが難しい状況でした。その点を改善するために色々情報を集めていたところ、一眼レフカメラをアダプタ接続する機種があることがわかりました。

詳しい説明を聞くために発売元である株式会社ニコンインステック九州支店を訪問したところ、「初代型の機種なら寄贈できます」とのご提案がありました。この機種の場合、顕微鏡にカメラの心臓部であるイメージセンサを直接取り付け、コント



寄贈品一式



(株)ニコンインステック九州支店にて寄贈を受ける。写真
右手は同社イメージアドバイザーの上田さん

ロール部によって撮影などの操作ができます。つまりコントロール部の表示を見ながら顕微鏡を操作できるので顕微鏡システム全体の操作性が向上します。また外部ディスプレイを接続して大きく表示できるので複数の方が一緒に観察することもできます。発売から10数年が経過し、現在は新たな機種が市場に出回っているとはいえ、この初代型デジカメの画素数などの基本性能は現行のものとは全く遜色がありません。また先に挙げた利点を考慮すれば、現在プレスト州立内分泌診療所で使用

しているデジカメに比べ大幅な改善となり、甲状腺検査の更なる質の向上が期待されます。

今回寄贈していただいた物品は次回のベラルーシ訪問時に持参し、プレスト州立内分泌診療所へ届ける予定です。この場を借りて(株)ニコンインステック様及び同社イメージアドバイザーの上田正道様に改めて感謝申し上げます。

(報告:河上雅夫/CMN理事)

緊急報告

ベラルーシ訪問事業の実施中止について

今年10月4日(日)～10日(土)にかけて医療専門家とともにベラルーシを訪問し、ミンスク州およびプレスト州での医療活動、調査を予定していましたが、しかしベラルーシ赤十字より「同月に実施される大統領選の関係で受け入れが難しい」との連絡があり、関係者と協議の結果やむなく訪問を中止することに決定しました。次回の訪問日程は未定です。決まり次第、本紙等にて告知いたします。

CMN結成25周年事業 チェルノブイリ連続学習会

毎月第2土曜日に、原発やエネルギー問題をテーマにした学習会を開催中です。第4回は長年に亘って原発問題や被災者支援活動に取り組んできたCMN理事の河上雅夫が講師を務め、第5回は東邦エネルギー株式会社代表取締役の田村治夫さんをゲストにお招きします。他では聞けない話も出てくると思います。参加費は500円/回。会場は「あすみん」セミナールーム（下地図参照）です。皆さまのご参加をお待ちしています！

**福岡市NPO・ボランティア
交流センター「あすみん」**
(福岡市中央区大名2-6-46-5F)

地下鉄/
天神駅2番出口より徒歩約4分
赤坂駅5番出口より徒歩約6分
西鉄バス/
西鉄グランドホテル前より徒歩約1分



第4回

10/10(Sat) 18:30~20:30

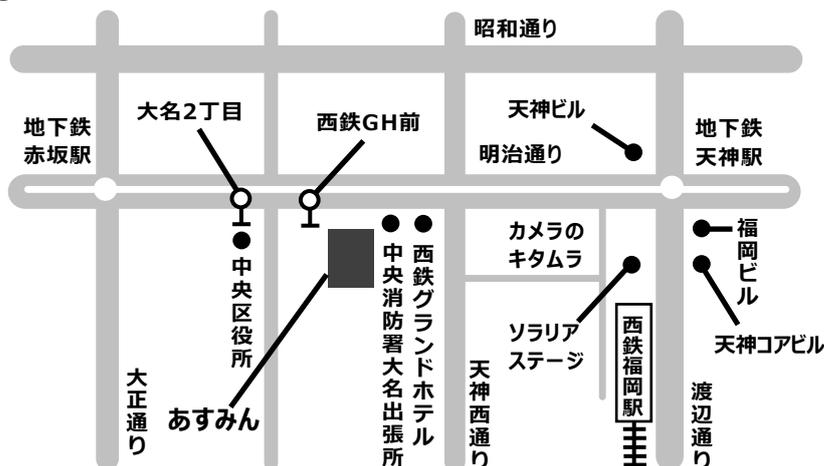
福島第一原発事故について
-事故の経過から甲状腺検査まで-



第5回

11/14(Sat) 18:30~20:30

原発を取り巻く問題(1)
-代替エネルギーについて-



ACTIVITY REPORT



7月17日(金) 明治学園高等学校にて出前授業

これは文科省が進めるスーパーグローバルハイスクール事業参加校として、世界で活動する人材から話を聞いて今後の学習の糧にするというものです。私の場合はNGO(NPO)の立場から私たちの活動を紹介し、それが人生においてどういう意味を持っていたかということについて話しました。聴衆は1年生の全クラス生徒230人と校長先生を含む教職員多数でした。(河上雅夫/CMN理事)

その他の活動・・・

- 6月29日(月) 北九州市立大学「NPO論」にて出前授業
- 7月11日(土) チェルノブイリ連続学習会・第1回「放射能とは」
- 8月8日(土) チェルノブイリ連続学習会・第2回「原発とは」

お知らせ!

ハートフルフェスタ福岡2015に参加します!

10/4(日) 11:00~16:30

福岡市役所西側ふれあい広場

入場無料です!





たくさんのご支援を本当にありがとうございます！
チェルノブイリ被災者支援のために大切にに使わせていただきます。

お名前掲載について

20 15年5月1日から7月31日までに募金をして下さった方、ならびに商品購入を通じて活動を支援して下さいました。同封の振込用紙の「氏名掲載」欄で、「可」の部分へ○印をして下さった方々をご紹介します。掲載を許可される方はぜひご記入をお願いします。なおコンビニやネットバンクからのお振込み等については、許可が確認できなかったものとして、掲載しておりません。募金者名の掲載をご希望の場合は、お手数ですが事務局までご連絡下さい。

マンスリーサポーター募集中！

月々 300円からの募金で気軽に、コツコツチェルノブイリ支援をはじめませんか？マンスリーサポーターになると毎月26日にご希望の金額がゆうちょ銀行総合口座から自動的にCMNへ寄付されます。「毎回振り込みに行く手間を省きたい」「無理なく継続的に支援を続けたい」という方にピッタリです。お申込、お問合せは事務局までお気軽にどうぞ！

事務局からのお知らせとお願い

振込 用紙（ゆうちょ銀行またはコンビニ用）は毎号同封しています。これは「思い立った時にいつでも振り込みできるように、毎号同封してほしい」というご要望があったからです。決してお振込を強要するものではありません。恐れ入りますが、ご不要の方は処分をお願いいたします。

住所 を変更された方は、事務局までお知らせください。なお今後の資料送付が不要の場合は、お手数ですが事務局までその旨ご連絡ください。

(順不同・敬称略)

吾郷成子 浅原望樹 植田清子 榎本みつ枝
金只律子 仮屋園幾代 川崎巳代治 川崎幸子
川原秀之 菊間みどり 桑原千鶴子 小林知子
定村洋子 佐藤久美 渋谷けい子 関根敏子
高橋武三 富田明美 中村幸枝 西山千代乃
野村幸子 箱田裕司 林由実子 廣橋富士枝
深堀ミチ子 福間由紀子 福山知恵子
村上和代 めぐみ保育園職員一同 森悠子
山口幸子 山口園美 山本睦子 四元洋子
和田茉莉恵 和田由理

<2015年5月～7月分の寄付内訳>

活動支援金	4,080,802円
のぞみ2 1カンパ	24,000円
雪だるま3号カンパ	20,000円
東日本支援カンパ	60,000円
合計	4,184,802円

★グリーンコープ生協組合員のべ1098名の方々より、3,608,000円の運営カンパをいただきました。心よりお礼申し上げます。

<都道府県別 / 計1166名 (匿名含む) >

【東京都】 2	【神奈川県】 2	【富山県】 1	【静岡県】 3	【愛知県】 1
【大阪府】 23	【兵庫県】 20	【鳥取県】 16	【島根県】 31	【岡山県】 24
【広島県】 123	【山口県】 93	【愛媛県】 1	【福岡県】 431	【佐賀県】 33
【長崎県】 47	【熊本県】 149	【大分県】 85	【宮崎県】 36	【鹿児島県】 45

●マンスリーサポーターの皆さん / 計123名 (匿名含む)

相羽美香子 磯道綾子 一瀬和美 伊藤利恵 稲田照子 井上礼子 植田清子 内野千鶴子
有働聡美 江原健一 延壽富美 大森卓子 大久保伸子 大久保弘子 大崎知恵 太田昌子
大場満 小黒慈子 落石久子 片山富美子 金山涼子 紙森優子 亀川早苗 河上雅夫 川崎
君子 川崎清美 川尻愛子 木村雅子 倉掛久輔 古賀輝洋 古賀尚子 後藤宇企子 財津耐
代子 財津悠子 齊藤美代子 阪口香奈子 坂口馨子 櫻井美喜子 佐々野也依 佐竹早苗
佐藤一江 佐藤進一 佐藤照子 白浜千恵子 末永浩子 首藤展子 高山知佐子 竹田恵子
武田孝子 田中京子 珍部千鳥 土持秀男・由利子・朱加 網脇牧子 富永隆史 鳥井原桐子
鳥原良子 永江之子 永尾ゆかり 中島幸代 中島まゆみ 永野沙智子 西井えりな 西首延
子 丹羽道代 納富育代 深川哲臣 福井初子 福本勲子 藤田優子 藤本竜子 藤本孝子
洲田三輝 古川恵子 松井真知子 松尾智恵子 松木幸美 松永庸子 丸山さより 水本敬子
三野桂子 宮野義治 村西美由紀 村松知子 室屋芳乃 山下澄子 山中陽子 山本亮輔 吉
田美抄子 渡邊久美子 渡邊真志子

●皆さまからのメッセージ (一部抜粋)

●チェルノブイリ、福島、川内と見てきたのに人間は何を考えているのか。●忘れていません。いつもお祈りしています。●未だに福島ではチェルノブイリ法の避難地域に相当する高線量地帯に多くの住民が暮らしています。さらに20ミリシーベルト/年以下の地域に住民帰還を押しつけてきました。福島等からの避難者の権利が無視されているのは許せません。●他人事のような関わりのない世の中、忘れてはならない沖縄、広島、長崎、そして福島。わずかで。希望の未来を信じて。●鹿児島県の川内原発がもうすぐ稼働します。人間は学ぶ動物ではないのでしょうか。●チェルノブイリの事故から日本人は何を学んだのでしょうか？ 少しでも、心は近くにあります。●少しでも、お役に立てればと思います。

編集後記

担当理事2名を中心に、夏ごろより下準備を進めていた訪ベラ事業が急きょ中止となりました。「チェルノブイリ被災者に支援の手を差し伸べたい」という会員の皆さまの思いを、現地での直接的な医療支援という形で届けることができず、大変残念でまた申し訳なく思います。来年4月にはチェルノブイリから30年。今回の中止は充電期間と捉え、活動をパワーアップすべくスタッフ一同頑張っております！ (み)

